

授業デザインシート

2年2組	教科	英語	授業者	池田 大恭	本時	3/10
単元名	Program7 “A Gateway to Japan”				場所	東多目的教室
指導目標	日本のポップカルチャーについて聞き手がワクワクするようなスピーチができるようになる。					
「主体的・対話的で深い学び」を目指す共通実践事項						
①基礎・基本の確認 ②先読み・声出し ③学び合い活動の充実 ④自分の言葉で説明 ⑤一問のチャレンジ						
過程	主な学習活動	場 時間	共通 実践	指導上の留意点・形成的評価【 Ⅰ 】		
導 入	1 Greetings あいさつをする。	一斉 1分	①	<ul style="list-style-type: none"> 元気よく挨拶ができていますか。 英語学習に意欲的に取り組もうとする雰囲気作りをする。(リアクション) 		
	2 Warm up & Review ・ グループで発表するポップカルチャーを友達に紹介する。 ・ 前時に作成した文章に即興で一文を付け加えて友達に話す。 ・ 1～2人発表をする。(タブレットを活用する。)	ペア 4分	②④ ②④ ④	<ul style="list-style-type: none"> 既習内容を踏まえてポップカルチャーについて話すことができていますか。【知・技】 時間を設定し、よりスムーズに話すことができるように促す。 		
	3 Small Task <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px 0;">チャイニー (ALT) が〇〇したくなる表現を加えよう！</div>	一斉 1分		<ul style="list-style-type: none"> 間違いを恐れず積極的に表現する雰囲気作りをする。 		
	4 Outlook ・ 本時の見通しをもつ。 ・ 教師のデモンストレーションを聞く。(ALTの例文含む)	一斉 2分		<ul style="list-style-type: none"> 「読むこと」ではなく「話すこと」を意識させる。 		
展 開	5 Group Work & Speech ア 前時までに作成したマッピングを参考に、自分とポップカルチャーの繋がりを英語でどのように表現できるかを考える。 イ 考えた表現を他のグループに伝える。 ウ イで気付いたことをグループで共有し、再考する。 エ イ、ウを繰り返す	グループ 30分	①③ ④ ①③ ①③ ④	<ul style="list-style-type: none"> 翻訳ツール等を使用せずに、“言い換え”をするように伝える。 聞き手が興味を持つように、既習内容を用いたり言い換えをしたりして、表現しようとしているか。【思・判・表】 文章を読まずに、メモや写真を参考にして友達に伝えるように促す。 即興的に相手に伝えようとしているか。【思・判・表】 		
	6 Writing ・ 5でスピーチしたことをノートに書く。 ・ 友達に聞いたり、辞書ツール等を活用したりする。(タブレットを活用する。)	個ペグ 3分	①④ ①③	<ul style="list-style-type: none"> 現在完了形を使用している班の例を全体で共有する。 他グループへ自分たちの英語が伝わるかを確認したり、良い表現を取り入れたりするように促す。 必要な生徒に個別の支援を行う。 		
終 末	7 Sharing Ideas 思考共有ツールを使い、本時の学習内容や気付きなどを学級で共有する。(タブレットを活用する。)	一斉 5分	③④	<ul style="list-style-type: none"> 本時で学習したことや気付いたこと、もっと学びたかったことなどについて padlet とリフレクションシートに書くように伝える。 		
	8 Reflection 本時で学習したことを使って、何ができるようになったのかななどを振り返りシートに記入する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px 0;">チャイニーが〇〇したくなるような表現を加えることができた。</div>	個人 3分	④	<ul style="list-style-type: none"> 学習したことを友達と共有し、次時のお互いの学びに繋げようとしているか。【主】 		
	9 Greetings 終わりのあいさつをする。					

単元名：A Gateway to Japan (全10時間)			
指導目標：日本のポップカルチャーについて自分との関係性を含め英語で話すことができる。 (話すこと)			
Large Task：友達と協力して日本のポップカルチャーをチャイニーに英語で紹介しよう！			
	学習内容と活動	Small Task	活用させたい言語材料・留意点
1	<ul style="list-style-type: none"> ・Program7の概要把握 ・ポップカルチャーの動画視聴と発表テーマの決定 ・マッピングの作成 ・新出語句確認 	チャイニーに紹介するポップカルチャーを決めてマッピングを作ろう！	<p>You look～.</p> <p>I am good at ～.</p> <p>It is known as～.</p>
2	<ul style="list-style-type: none"> ・モデル文の確認 ・マッピングの追加と修正 ・概要文スピーチ ・新出語句確認 	ポップカルチャーの概要文を友達に伝えよう！	<p>Have you ever heard of ～?</p> <p>Yes, I have./No, I haven't.</p>
3	<ul style="list-style-type: none"> ・モデル文の確認 ・マッピングの追加と修正 ・ポップカルチャーと自分との繋がり のスピーチ 	チャイニーが〇〇したくなる表現を加えよう！	<p>Have you ever heard of ～?</p> <p>I have been a big fan of ～.</p> <p>It is known as ～.</p>
4	<ul style="list-style-type: none"> ・新出語句の確認 ・本文の内容理解・音読 ・スピーチの修正、追加、練習 	真央とダニエルの会話を自分のスピーチに取り入れよう！	<p>Have you ever heard of ～?</p> <p>Yes, I have./No, I haven't.</p> <p>I have ～. You look～. Like～.</p>
5	<ul style="list-style-type: none"> ・新出語句の確認 ・本文の内容理解・音読 ・スピーチの修正、追加、練習 	真央とダニエルの会話内容を自分のスピーチに取り入れよう！	<p>Have you～? Yes, I have./No, I haven't. I have ～.</p> <p>According to ～. We recommend～.</p>
6	<ul style="list-style-type: none"> ・新出語句の確認 ・本文の内容理解・音読 ・スピーチの修正、追加、練習 	健と自分のスピーチを比較して、良いところを取り入れよう！	<p>Have you ever heard of ～?</p> <p>Yes, I have./No, I haven't.</p> <p>It's getting more popular. It's a gateway between～.</p>
7	<ul style="list-style-type: none"> ・音読練習 ・リテリング 	写真を見て、本文の内容を友達に伝えよう！	<p>He has～. It has been～.</p> <p>It is influenced by ～. It's getting more popular. It's a gateway between～.</p>
8	日本のポップカルチャーについての発表 (Large Task)	日本のポップカルチャーをチャイニーに英語で紹介しよう！	ALTへ直接発表、もしくはビデオに撮って後日ALTからコメントをもらう。
9	<ul style="list-style-type: none"> ・文法確認、補充 ・リスニング 	Program7の文法について確認しよう！	スピーチの作成過程で活用が不十分だった文法事項について確認・補充をして、新出文法の定着を図る。
10	単元テスト	友達と「学び合い」、ベストを尽くそう！	授業の前半は本単元の復習をして、後半は単元テストに取り組む。